



# 図書館だより



平成 30 年 6 月号 NO. 344  
北茨城市立図書館  
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16  
TEL 0293-42-1451

## 「梅雨だ！！」図書館へ行こう！！

今年もこの時期がやってまいりました。毎日毎日雨が続き、気持ちもすっきりしない日が多くなります。子どもは外で遊べなくなり家のなかで騒がしくなったり、また洗濯物が乾かず憂鬱です。湿気があるためカビが生えやすかったり、なんとなく嫌だなと思わずにはいられないですね。

でも、この雨は農家の人にとっては恵みの雨、作物が育つには必要な雨です。そんな雨のなか、ちょっと心を和ませてくれる花「紫陽花」。雨の中、鮮やかな紫色が淡い色から濃い色へと変化する様子はとても素敵ですね。紫陽花ってお天気のよい日に見るより、雨の日がとてもお似合いです。その様子を見ると、なんだか元気になります。梅雨も悪くないなって（笑）

雨が降って何もできなくなったら、図書館へ！！雨降る様子を見ながら、読書なんていかがでしょうか。お気に入りの本に出合えたら、鬱陶しい梅雨も楽しく過ごせるのではないのでしょうか。図書館 2F の展示コーナーには「梅雨から夏へ — この季節を楽しむ —」と題しておすすめの図書を展示しています。 by チッピー



### 《 図書館カレンダー 》

■ 印は、休館日です。

### ★ 開館時間 ★

午前9時30分～午後6時

### 2018年 6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



## YABOOK ご紹介

### 「僕は上手にしゃべれない」

児童書 913 シ 椎名 直弥 // 著 ポプラ社



新年度が始まってもう2ヶ月が経ちました。早いですね。生活のペースにもだいぶ慣れた頃でしょうか。この本の主人公・柏崎悠太は中学に入学した。

クラスみんなの前で自己紹介をしなければならない。でも訳あってうまくできない。その日も保健室に逃げてしまった。そんな帰り道に放送部の勧誘のチラシを差し出された。そのチラシをきっかけに悠太の生活に変化が…。

☆新しいことに挑戦するのはとても勇気がいります。でも、頑張っている姿はきっと誰かが見えていますよ。

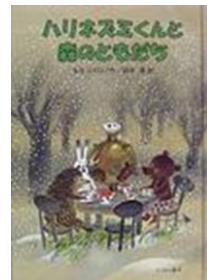
by ドラ

## 図書館員のひとり言 ~ よい本を届ける努力 ~



### 「ハリネズミくんと森のともだち」

児童書 983 コ S.G.ゴズロフ // 作 S.A.オストロフ // 絵  
田中 潔 // 訳 岩波書店

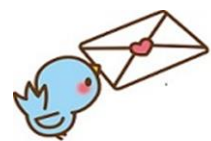


たまたま手にとった本を読んで、「ああ、こんないい本をまだ読んでいなかった!」と思うことが、ときどきあります。今回紹介する、ゴズロフ作のこの本もそんな一冊です。

まず、題名が、ちょっと特徴がない…というか、手にとって読んでみたい、と思わせるインパクトに欠けています。表紙は、かわいい動物たちが雪の降る森のなかでお茶を飲んでいる様子が描かれています。第一印象は「かわいい物語の本」という以外は、さして特徴のない本です。読んでみると、ちいさな動物たちの、小さな物語がいくつもまとめられています。小学校3、4年生ぐらいの子どもさんなら、すぐに読むことができますでしょう。一つの物語は本当に短いのです。でも、読み終わったあとの余韻がとにかく深い! 読み終わって、正直びっくりしました。出版年を見ると、2000年5月。あらまあ、こんなに昔に出版されていたのに、今まで、こんな良い本に気付かなかったなんて! と反省しきりです。

訳者の田中潔さんのあとがきを読んでみると、「不況のまっただ中の日本で、児童書の新刊を出す? とにかく売れる本ではなく、なんとかよい本を出そうとふんばる編集部に支えられて、この本は生まれました。」という一文がありました。

ほんとうに、売れる本とよい本がイコールではないのですよね…。がんばって出版していただけてよかったです! と思いました。そして、久しぶりに「私たち図書館員は、よい本を子どもたちに届ける努力を怠ってはいけない」と強く感じさせてくれた一冊です。



by ビクトリア



## ◇ 科学者が解く「老人」のウソ ◇

一般書 159タ 武田 邦彦 // 著 産経新聞出版

人は定年まで生きたら、その先は余生でしょうか。いえいえ、近年の平均寿命の伸びを見れば、「第二の人生」という言葉がすでに本当の意味を持つ時代になったことがわかります。この本にはこれまでの既成概念を科学的な見地からぶち破る、第二の人生を生きるためのヒントが盛り沢山です。「老人」に仕立てられ余生として受け身で生きるよりも、新たな人生を新たな価値観で始めてみませんか。今後の人生で最も若い今日、ぜひ手に取って御覧ください。

by コマさんぽ



## ◇ 隣のずこずこ ◇

一般書 913.6カキ 柿村将彦 // 著 新潮社



人口減少と少子高齢が進み放題だが、いたって平和な矢喜原町に突然、伝説の“あいつ”（+謎の美女）がやって来た。これからきっかり1ヶ月後に、人間を丸呑みにして、田畑も家屋もぜんぶ焼き払って、文字通り町を「なかったこと」にしてしまうらしい。んなアホな。主人公のはじめ（中学3年・女）も最初は半信半疑だったけれど、ある出来事をきっかけに、“あいつ”への疑問やら反発心やらがむくむくと芽生えてくる。果たして、はじめと矢喜原町の運命はいかに！？

もし自分が矢喜原町の間人だったら、この突拍子もない事態にどう対処するか、物語を追いながらじっくり考えてしまいました。

by ミカゲ

## ◇ イチからつくるワタの糸と布 イチは、いのちのはじまり ◇

児童書 586イ 大石 尚子 // 編 杉田 比呂美 // 絵 農文協

わたしのおばあちゃんは、とってもおしゃれ。すてきなショールも手作りします。「布を織るところを、みせてあげようね。」おばあちゃんの部屋には、おもしろそうな道具がたくさんありました。

わたしは、自分でも何か作ってみたいくなりました。畑で綿を育て、糸をつむいで草木で染めて、機で織って、ながい時間をかけて布を手作りするようすを描いた本です。手織りや草木染めに興味のある大人の方にも楽しんでいただける一冊です。



同シリーズには、「イチからつくるカレーライス」「イチからつくるチョコレート」もあります。こちらもおすすりめです。

by みーやん





◇ そらからぼふ〜ん ◇

児童書 Eソラ 高島 那生 // 作 アルビレオ // デザイン くもん出版



ある日、ものすごい音がしてさ、空からなにか落ちてきた！？  
ひゅ〜、ぼふ〜ん、ぼぼーん！ とうん、どっぷ〜ん！  
その後、ぐうぐう、すーすー...  
そして、ぬる〜ん！  
この音の正体は。ヒントはみんなの大好きな、ある食べ物。  
読み終わったあとは必ず食べたくくなりますよ。  
おやつ時間の前に、おすすめの1冊です。 by キキ

◇ 強くなる！ こども将棋入門 ◇

児童書 796ツ 杉本 昌隆 // 監修 朝日新聞出版



◇ ひふみんの将棋の一二三 ◇

一般書 796ツ 加藤 一二三 // 監修 津江 章二 // 著 神宮館



空前の将棋ブームですね。将棋が指せるようになりたい、そう思っている方へ、入門書を紹介します。いずれも「マンガと図解で早わかり」、「ビジュアルでわかる」とあるように、マンガやひふみんのイラストで、楽しく将棋を学ぶことができます。

女性の方にも、ひふみんファンの方にもおすすめです。 by 雲

「おはなし会」のお知らせ

★ 図書館おはなし会 ★

6月6日(水)・20日(水)  
午前10時～10時30分

★ エプロンヒロ子さんのエプロンシアター ★

6月9日(土)  
午前10時～10時30分

★ メリアンさんのおはなし会 ★

6月13日(水)・23日(土)  
午前10時～10時30分

★ ぽっぽのおはなし会 ★

6月27日(水)  
午前10時～11時



★ すべて、参加自由・無料です。  
場所：1階おはなし室 ★

「野菜づくり講座」(事前にお申込みが必要です。)

★ 7月5日(木) ★ 午前10時～11時30分：図書館2階会議室

「第8回バードウォッチング」(お申込み不要、途中からも参加できます。)

★ 7月8日(日) ★ 午前10時～11時：図書館前ウォーキングロード

★ 午前11時～正午：図書館屋上

※ 雨天時は、図書館2階ひだまり交流テラスで行います。